

# 「考えよう これからの生活」 共に生きる生活 by サンキョウ-エンビックス

小学校6年 家庭科(連続2時間)

(※この案を元に講師との打ち合わせを行ってください、プログラム案を変更することは可能です。)

## 授業のねらい

- 水質の目安は、水の利用目的によって変えて考えることが必要であることを知る。
- 身の回りの水道水、河川の水、生活排水等の水質をパックテストを用いて調べる活動を通して、自分自身の普段の使い方の問題点や環境に配慮した水の使い方について考えることができる。

## 本プログラムに対する企業の思い

○株式会社 サンキョウ-エンビックス (川本 朋幸 氏)

岡山市の環境コンサルタントの会社。企業や自治体などの依頼を受けて、空気、水、音、土壌などの測定・分析を行っている他、環境に影響の大きい施設を導入する前に、導入した後の影響を評価するための調査や助言も行っている。また環境保全にも力を入れており、岡山市大野地区において、ダルマガエルの保全活動にも取り組んでいる。今回のプログラムにおいては、水の分析を通して、環境問題について考えてもらいたいという思いを持っている。



## 授業の流れ (時間)

黒字：G 企業

青字：C 児童

緑字：T 教師

### ○前日までの準備

T：いろいろな水を、児童に集めさせておく。

(水道水、河川の水、風呂の残り水、醤油やジュース、牛乳、雨水など)

G：児童が集めることができない水を用意する。

(学校周辺の川がきれいな場合は汚れた川の水を、周辺の川があまりきれいではない場合は、きれいな川の水を用意することで、水質を対比して考えることができるようにする)



### ○今日のめあてを知り講師の紹介を聞く (5 分)

T：今日の学習のめあてを発表し、講師を紹介する。

(例)身の回りにある水を調べて、自分にできることを考えよう。

G：今日の学習では、水について調べることで、環境について考えていくということを知らせる。

### ○水に関するクイズに答える (10 分)

G：クイズを通して、水は生活に不可欠なものであること、現代の生活には大量の水が必要であること、水が貴重な資源であること、水質の目安は利用目的によって変わることなどを知らせる。



G：CODについて説明し、本時では生き物がすむことができるという基準で調べていくことを知らせる。

(※COD：有機物を化学的に酸化するときに必要な酸素量を表した値。水質の汚れをはかる指標)

## ○環境問題や公害の歴史についての話を聞く（10分）

G：公害の歴史や現在の環境問題について、5年生での学習を振り返りながら説明する。

G：身の回りの環境の状態を把握し、環境を守るために何ができるのか考えることが大切だということについて話をする

## ○パックテストを使って、水質を調べる（25分）

G：パックテストの使い方を説明すると同時に、パックテストは、水の「きれい」の基準を示すものであることを説明する。

C：自分が持ってきた水や、あらかじめ用意された水を、パックテストを使って調べる。

T：うまくいかないグループに声かけをしたり、支援をしたりする。



## ○パックテストの結果について、個人で考察する（10分）

G：パックテストの結果について、記録しておくように声かけをする。

T：どんな事に気づいたか、児童に声かけをする。



## ○自分が考えた結果を元に、グループで話し合う（10分）

G：グループで話し合いをさせる。

T：よい水質を保つために、生活の中でどんなことができるのか考え、話し合うように促す。

C：水質の違いから、気づいたことをまとめ、生活の中の問題点に気づく。



## ○グループで出した意見を発表する（10分）

G：グループで話し合ったことについて発表させる。

T：グループごとに指名する。

C：グループごとに発表する。

(例)・水質試験の結果から醤油などは、少しの量で水を汚してしまうということが分かった。

・自分は今まで醤油などをたくさん出して、残った物を水道に流していたので、環境に良くない影響があったと思う。

・これからは必要な分だけを使い、残った物は紙で吸い取ってゴミ箱にすてるなど、環境に気をつけた生活を実行する。



## ○質問・まとめ（5分）

C：講師に質問、感想、授業を通して気づいたことなどを発表する。

T：発表者を指名し、できるだけ多くの児童が発表できるようにする。

## ○講師のまとめを聞く（5分）

G：普段の生活の中で、何ができるのか考えて実行することが、環境を守っていくことにつながっているということをまとめ、できることを実践しようという意欲を高める。